

平成24年度第1回
千葉市社会福祉審議会高齢者福祉・介護保険専門分科会
あんしんケアセンター等運営部会議事録

- 1 日 時 平成24年5月29日(火) 午後7時～午後9時
- 2 場 所 千葉中央コミュニティセンター8階会議室 千鳥・海鷗
- 3 出席者 (委 員) 畔上加代子、瓜生澄江、高梨茂樹、高野喜久雄、中田緑、中村龍一
西尾孝司、広岡成子、藤澤里子、藤本俊男、松崎泰子、三宅康彦
(委員13名うち12名出席) (敬称略)
(事務局) 高齢障害部長、高齢福祉課長、高齢施設課長、介護保険課長、ほか8名

4 議 題

- (1) あんしんケアセンターの平成23年度実績について
- (2) あんしんケアセンターの運営方針策定について
- (3) 地域密着型サービス事業者の指定の報告について
- (4) 地域密着型サービス事業者の指定更新の報告について
- (5) 千葉市あんしんケアセンターローゼンヴィラはま野の設置場所の変更について
- (6) その他

5 議事の概要

議事に先立ち、会議は一部非公開であることを確認した。

- (1) あんしんケアセンターの平成23年度実績について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (2) あんしんケアセンターの運営方針策定について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (3) 地域密着型サービス事業者の指定の報告について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (4) 地域密着型サービス事業者の指定更新の報告について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。

～ 議事(5)は非公開～

- (5) 千葉市あんしんケアセンターローゼンヴィラはま野の設置場所の変更について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答の後、移転に関し承認された。

6 会議経過

	<p>議事に先立ち、事務局より会議は一部非公開であることを確認し、その後、部会長が議長となり議事を進行した。</p>
	<p>議題1 あんしんケアセンターの平成23年度実績について (柴田高齢福祉課長より、次第1 あんしんケアセンターの平成23年度実績について説明を行った)</p>
畔上委員	<p>議題1についての質疑応答</p> <p><相談者件数、相談件数・内容の推移>の表から、成年後見の相談件数が去年の約3倍になっています。対応的にはつつがなくできているという解釈でよろしいでしょうか。</p>
柴田高齢福祉課長	<p>数はかなり増えていますが、対応もできていると思います。10月にあんしんケアセンターが増えますので、対応はさらにきちんとできるようになると思っています。</p>
畔上委員	<p>この成年後見にかかわっている方たちというのは、どのような方たちですか。</p>
柴田高齢福祉課長	<p>もちろんセンターの中では社会福祉士が中心にかかわっていますが、相談をいただく方としては、ご家族や民生委員さんなどが多い状況です。</p>
広岡委員	<p>要支援認定者数とそのケアプラン作成件数についてですが、ケアプラン作成件数の方が多くなっているのは、ケアプランを1人の方が何回か作成していただいたという解釈でよろしいのでしょうか。</p>
柴田高齢福祉課長	<p>ケアプランは6か月で切れる場合がありますので、6か月後の更新をされた方がいますと必ずしもケアプラン件数と要支援認定者数が一致しないことがあります。そのためケアプラン数の方が多い状況です。</p>
広岡委員	<p>わかりました。お一人の方でも一年間に2回ケアプランを作成してもらうことがあるということですね。</p>
西尾委員	<p>「平成23年度 あんしんケアセンター実績」の表の総合相談内容「虐待の疑い」に関する対応について、一番多いセンター(ローゼンヴィラはま野)が115件、一番少ないセンター(ちば美香苑)が4件ときわめて大きな格差が出ていますが、どうしてこのような差があるのでしょうか。</p>
柴田高齢福祉課長	<p>相談件数の多いセンターは、積極的に地域に出て情報発信したり、ネットワーク作りにも力を入れ民生委員さんや関係機関などから相談が入ってきやすいという状況があると思います。多少は地域的な差(例えば高齢者人口や高齢者世帯数、認知症患者数等)はあるかとは思いますが、基本的にはどれだけ地域に自分たちの顔を見せ地域とのネットワーク作りができ、どれだけ情報が取れるかということがこの数値に反映されているのかと思います。またこの点については、今後、平準化をしていかななくてはいけないと思っております。</p>
畔上委員	<p>いまの西尾先生の質問につながるのですが、虐待の通報についていろいろな通報の流れがあると思うのですが、こういった流れの通報が多いのでしょうか。</p>
柴田高齢福祉課長	<p>現在、正確な数字は手元にはないのですが、訪問介護などの場面で発見されるなど介護サービス事業者の方が一番発見しやすいのではないかと思います。</p>

<p>畔上委員</p>	<p>これは分析する必要があると思います。</p> <p>事業所としては、例えば、デーサービスの入浴時には必ず点検するよう指導しています。ご自分で転ばれたようではなさそうだなという状況を発見したらケアマネージャーに連絡する体制はとっていますが、これは個人情報の管理も含めて虐待の届け出は非常に難しい部分なのできちんとした流れや体制をつくってネットワークづくりをしないといけないのではと思います。</p>
<p>柴田高齢福祉課長</p>	<p>千葉県でも「高齢者虐待防止マニュアル」は策定しているところではありますが、それをどのように認識いただいてどのように通報していただくかということとは重要なことだと考えておりますので、再度検討させていただきたいと思います。</p>
<p>西尾委員</p>	<p>質問ではありませんが、一昨年の高齢者虐待防止学会の中での調査の中で、実は高齢者虐待防止法施行以降、本人からの通報が相当増えているというデータが示されていたことがありました。ご本人から通報するというルートがこれからも十分広がりうる（今まではサイレントだと思われていた高齢者自身が結構声を上げ出している）ということでしたので、今後のあんしんケアセンターや市の研修の中で事業者への啓発ももちろん大事な部分かと思いますが、ご本人たちに何らかの形で通報できる（してよい）という情報提供も極めて重要になるのではないかなと思いますので何かの参考にさせていただければなと思います。</p>
<p>柴田高齢福祉課長</p>	<p>ありがとうございます。参考にさせていただきますして、市民向けの講座や出前講座などの機会も利用してできるだけ地域に広まるように努力していきます。また、通報の流れがどのようなところからあるかということにつきましては、数字の分析をしていきたいと思っております。</p>
<p>白井高齢障害部長</p>	<p>さきほど、ローゼンヴィラはま野とちば美香苑の相談件数の差の話がありましたが、一番大きな差は両センターの取り組みの違いと思われます。というのは資料集の「平成23年度実績報告書」のローゼンヴィラはま野の報告書を見ていただくと「権利擁護業務」の実施内容に『「高齢者虐待防止法」の研修を実施した。～警察同行の立ち入り調査を実施した。』とあり、自己評価欄には、『虐待のハイリスクがある方の報告が増え～実施することができた。』という報告がされています。一方、ちば美香苑の報告書を見ると同じ「権利擁護業務」の実施内容の項目については特に主だった記載がなく、自己評価の項目では『相談件数は少ないが～早期対応に取り組みたい。』と記載されており認識は持っているが現時点での権利擁護に対する準備対応がローゼンヴィラはま野に比べたら不十分と思われる部分がございます。今後、増設するあんしんケアセンターの引き継ぎや研修で事例を取り上げながら具体的に指導し、業務内容や実績についても基準を設けるなどの努力をしていきたいと思っております。</p>
<p>松崎部会長</p>	<p>畔上委員から提案いただいたように相談件数だけではどういうルートで把握されたのか、ハイリスクケースなのかなどがわからないため、もう少し整理が必要だと思いますので、今後できるだけ実態をつかんでいただきたいと思います。</p>

	<p>議題2 あんしんケアセンターの運営方針策定について</p> <p>(柴田高齢福祉課長より、次第2 あんしんケアセンターの運営方針策定について説明を行った)</p> <p>議題2についての質疑応答</p>
三宅委員	<p>運営方針(案)の『3 関係機関及び関係者とのネットワーク構築』にさまざまなネットワークを構築すると記載がありますが、現在、具体的にネットワークができていているところがあるのでしょうか。これから作ろうということでしょうか。</p>
柴田高齢福祉課長	<p>具体的にネットワークの構築というところまでいきませんが、ネットワークづくりのための地域ケア会議をすでに開催しているセンターがいくつかございます。中央区のローゼンヴィラはま野や稲毛区のみどりの家などでは、区保健福祉センター、社会福祉協議会、民生委員さん、警察、消防、学校、その他地域のコンビニエンスストアの店長などに参加していただき会議を開催し、地域の情報共有や関係づくりをしています。</p>
三宅委員	<p>自分の地域のことですが、高齢者が大変多い地域なのでぜひネットワークの構築に力を入れ一緒に活動をしていきたいと思えます。昨年は高齢施設課長さんにお越しいたいただき、今年はいんしんケアセンターのシャローム若葉さんに介護保険と介護予防の講座をやっていただき、知らないことがたくさんありとても有益でしたので、今後もこのような機会を活用して横断的な関係の構築までいきたいと思っています。</p>
松崎部会長	<p>この運営方針は、非常に重要で何をセンターとしてやらなくてはいけないのかということをしちんと明記してあると思えます。今まではセンターごとに温度差があるのかなと感じ取れたのですが、今回24か所になりますのではっきりと市の運営方針が必要だと思えます。運営方針(案)の「7その他の(1)あんしんケアセンターの周知活動」や「(2)センター増設に伴う円滑な業務移行については」は千葉市の今回の増設を踏まえて付け加えたということでしょうか。</p>
柴田高齢福祉課長	<p>はい、そのとおりです。この運営方針は年度単位で毎年作成していければと考えております。今年度におきましては、あんしんケアセンターの増設ということがありますのでその他の項目に加えさせていただきます。</p>
畔上委員	<p>例えば昨年の地震のように緊急の場合に地域の情報を把握しているのはあんしんケアセンターだと思うのですが、緊急の対応についての動きはどのようになっているのでしょうか。</p>
柴田高齢福祉課長	<p>現在、災害時要援護者名簿は高齢福祉課で作成しており、その名簿につきましては民生委員さんにはお配りしております。あんしんケアセンターにつきましては、その名簿ではなくセンターが自ら地域で活動して把握した対象者リスト(名簿)をもとに動いている状況です。昨年の地震の時には、各センターは継続支援ケースなどに対し訪問や電話などにより状況確認を実施しております。個人情報保護条例の関係もありなかなかそのままストレートに情報提供ができないところもあります。どこまであんしんケアセンターに市の情報を提供できるかということについては個人情報保護の部分も含めて今後の課題だと思っております。</p>
畔上委員	<p>個人情報の管理が行き過ぎて救済することができなかったのではないかとということが</p>

<p>畔上委員</p>	<p>昨年の地震の後の会合でもでています。情報を持っているということは、救済の方法も情報の中に入っているということです。今の体制ですと地震の時に市が把握しているデータが活きるかどうかわからないわけですからやはり情報の管理も含めて管理と活用の両方ができないとうまくいきません。民生委員さんはボランティアの方々ですからそこまでお願いすることは大変だと思いますので、やはり地域のネットワークを作りながら緊急時の対応はあんしんケアセンターにかかわっていただかないとうまくいかないことだと思います。</p>
<p>瓜生委員</p>	<p>要援護者の名簿は市から民生委員がいただいております。実際、それを活用するといっても、やはり一人の民生委員が担当するには範囲が広すぎます。ですから要援護者の方にも納得していただいた上で町内会などの小さい単位の機能を活用して支援・確認をする必要があると思います。あんしんケアセンターですと民生委員の区域よりもさらに広くなりますのでセンターが要援護者をすべて支援・確認することは無理があると思います。</p>
<p>松崎部会長 高梨副部会長</p>	<p>高梨副部会長、いかがでしょうか。</p> <p>「災害弱者の一人暮らし高齢者の安否確認」、これをすべてあんしんケアセンターができるかどうかという点については、難しいと思います。まずは、この方々に対する仕組み作りをしなければなりません。そういう意味からいたしますと地域福祉の中核的役割である社会福祉協議会の立場で、時間はかかりますが、もっと地域に出てあんしんケアセンター等を含めたネットワークを形成しながら、支えあう一人一人のケアシステムを作っていく必要があると思っております。対象者がものすごく多い状況ですからはじめは地道にゆっくりと進めて最終的には多様性の中でも応用が利くようなシステムを作るということです。地域の特性を分析した中でどの仕組みがこの地域に一番合うのかをそれぞれの地域に選択してもらい地域で実践していく、その中であんしんケアセンターや社協が地域の方々の力をいかにうまくコーディネートして一緒に活動していくかが重要だと考えます。</p>
<p>中田委員</p>	<p>ネットワークについてですが、やはり町内会が地域の中では訪問しやすいのではないかと思います。品川区では、以前、ヤクルトさんもご協力いただいて安否確認を行ったり、新聞販売店さんなどと協力して活動していました。要援護者やそこからもれた独居の高齢者の方々をすいあげていくというシステムづくりがこれから安心して過ごせる地域づくりには必要だと思います。ネットワークの構築においてコーディネートの役割（ヤクルトさんからも、新聞販売店さんからも、町内会さんからも通報がくるような役割）があんしんケアセンターに求められていくのかなと思います。</p>
<p>松崎部会長</p>	<p>ありがとうございます。本当にまさしくその通りだと思います。ですから、あんしんケアセンターがいかに地域にアンテナを張ってそしてコーディネートする力があるかということですね。</p> <p>わたくしが住んでいるところは 65%が高齢者という地区ですが、その中でも一人暮らしとかお二人とも 90 歳近い方とかに対しては、あんしん見守り会のような体制を 3 人 1 組で作って地域で見守るという活動をやっております。そこでなにかあった時にはまず民生委員さんに連絡が行くようにしています。</p>
<p>松崎部会長</p>	<p>それでは、運用方針は毎年、状況により付け加えたり変えていくということなので平成</p>

<p>三宅委員 鳩川高齢施設課長</p>	<p>24年度は事務局の提示した運営方針ということによろしいでしょうか。</p> <p>～一同拍手～</p> <p>議題3 地域密着型サービス事業者の指定の報告について (鳩川高齢施設課長より、次第3 地域密着型サービス事業者の指定の報告について説明を行った) 議題3についての質疑応答 この施設にはエレベーターは付いているのですか。 設置しております。</p> <p>議題4 地域密着型サービス事業者の指定更新の報告について (鳩川高齢施設課長より、次第4 地域密着型サービス事業者の指定更新の報告について説明を行った) 議題4の質疑応答は特になし。</p> <p>～これ以降、非公開議事～・・・非公開のため、発言内容も非公開・・・</p> <p>議題5 千葉県あんしんケアセンターローゼンヴィラはま野の設置場所の変更について</p> <p>議題6 その他</p> <p>全ての議事について説明、質疑応答、承認が終了し閉会となる。</p>
--------------------------	---